

## 福浦事業所開設にあたって

代表取締役社長 工学博士 佐藤 順一  
Sato Jun'ichi



当社は本年7月に、交通至便な横浜新都市交通金沢シーサイド線福浦駅の駅前に福浦事業所を開設しました。これに伴い、1993年に開設した霞ヶ浦事業所を閉所し、また1983年に開設した金沢事業所も閉所し、それらの人員・設備を新設の福浦事業所に移転しました。また金沢事業所は、福浦事業所の分室として大型・中型試験装置の開発試験・製作工場、および将来の事業拡張に備える場所として整備しました。福浦事業所と分室の距離は約1Kmしか離れておらず徒歩圏内であるので、一体運営が可能となっています。

IICの原点は、社名が示すように検査計測技術であり、それらの技術によりIHIグループおよび社会に貢献することが求められています。すなわちIICには、IHIグループを代表する検査技術、計測技術、研究開発支援技術、計測装置エンジニアリング技術を高度に保持し発展させることが要求されています。一方、顧客の真の要求は何かと考えると、それはソリューションだと思います。単に検査計測や試験の値を提供するだけでなく、お客様の「何のために」を理解し、検査計測結果や試験結果に対する総合的な技術判断を提供することだと思います。さらにそれらを実現するための特別な検査計測装置の提供も求められていると思います。これらの要求に応えるためには、IIC全社の技術・ノウハウを総合して応えていく必要があります。

個々の技術の側面から見ますと、従来と比べ現在では検査計測技術も高度化し複雑化してきています。そのため、従来の特定の部門だけでは高度な技術を開発し、それを成長させていくことはできません。そこで当社ではこの1年間をかけて、将来の事業のあり方について検討を進めてきました。その結果、技術の有機的統合、それによる総合力の発揮には、これまでの縦割りを超えるべく、組織の統合および場所の統合を組み合わせた組織体にする必要があるとの結論に達しました。これはIICの有する技術リソースを最大限に有効活用し、シナジー効果を得られる最適配置を行い、お客様の要求に応えられるようにするためのものです。本施策を実施するため、冒頭で述べましたように新たに福浦事業所を開設し、事業および事業所の再編を行いました。

これらの施策により、検査技術、計測技術、装置開発技術、研究開発が一カ所に集約され、IICの有するリソースを最大限活用し総合力を発揮できる体制を構築できたものと思います。今後さらなる検査計測技術力の強化、商品開発力の強化、新事業の開拓に向けた取り組みを図ることにより、お客様に満足していただける総合サービス、商品を提供していくことができるものと思います。今後とも、皆様の変わらぬご支援ご鞭撻の程よろしくご願ひ申し上げます。